

## 委員からの追加意見

## 意見提出用紙

「環境保全活動の活性化方策について（中間答申）」（案）について

（氏名 河野 正男 ）

二つ意見があります。

\*中間答申案の7頁の「3. 環境保全活動を進めるための課題」の書き方についてこの章の冒頭部分を読みますと、多くの課題が、ア、イおよびウの3点から整理されるとの理解を与えます。つまりアの下に幾つかの課題、イの下に幾つかの課題、そしてウの下に幾つかの課題という整理です。このような誤解を避けるために、冒頭部分に下記のように加筆してはいかがでしょうか。

「2で述べたように、様々な主体による環境保全活動が求められ、その萌芽が見られるようになっているが、さらに自発的な活動を活性化していくためには、基本的な考え方の未確立、人材の不足、情報の不足・偏在等々、多くの解決すべき課題がある。

自発的な活動を進める上でのこれらの課題別に、ア、それに取り組むべき各主体の観点からのもの、イ、その役割の拡大が期待されているNPOの観点からのもの、ウ、各主体がパートナーシップを構築して活動を行う観点からのものの3点から整理して考えることができる。

\*中間答申案の大半がNPO関連の内容にさかれ、それとの関連で行政に触れられています。企業の環境保全活動をより活性化させることも重要と思われませんが、企業の環境保全活動の活性化についてはあまり触れられていません。「はじめに」の部分で、小泉首相の言を引いて「人」がポイントとっていますが、この語のみでは、本答申がNPOによる環境保全活動の活性化に焦点を合わすものであることを示唆するには弱いのではないかと思います。もう少し加筆してはいかがでしょうか。（本務の都合で、部会へ欠席しがちであったために、ピントはずれの意見かも知れません。その場合は、無視して下さい。）

## 意見提出用紙

「環境保全活動の活性化方策について（中間答申）」（案）について

（氏名 榎井 成夫 ）

NPOと行政の関係は、日本では双方とも、まだ熟してはいない現状がある。そこで、NPOは主体として、欧米の形にとらわれ過ぎて、自ら自由に伸びきれない点があり、一方、行政には、不慣れで及び腰の傾向が否めない。これを、日本型で突き破ろうとするのが今回の中間答申で、そこに画期的な意義も、意気込みもある。NPOとしては、行政側の干渉が増えると懸念するかもしれないが、上記の意義を踏まえて、環境省は、正面から法制化に取り組み、答申全体の具体化を図って欲しい。その際、NPO側の懸念に十分配慮するのは当然である。要は、NPOと行政の協働について、日本的なスタイルをめざす第一歩にすることだ。

この観点からいくと、中間答申の4の「具体的な施策の考え方」で、各主体の責務では国民全般の責務と行政機関の責務しか触れていないのは残念だ。

そこで、2の「環境保全活動をめぐる状況・背景」と内容が重複してもよいから、4の「施策」に、NPOの責務や役割をきちんと書き込み、今後の日本の社会におけるNPOの果たすべき役割と意義を鼓舞して欲しい。

以上

## 意見提出用紙

「環境保全活動の活性化方策について（中間答申）」（案）について

（氏名 横山 裕道 ）

- 1 中間答申8ページの「イ、NPO活動」の2行目以降にある「NPO自身がそのような認識を十分に有していず、必ずしも住民等の理解や支援を得られていないといった場合がある。NPOの中には、他の団体等の活動に関心を持たないような例も見られるといった指摘もなされることがある」について。

確かに修文はされましたが、NPO側から読んだ場合、やはりまだまだきつい表現だと思います。どうしてもNPO活動の未熟さなどについて書きたいのであれば、村杉委員からの意見（別途出されると聞いています）を基にした表現にしたらいかがでしょうか。

- 2 中間答申を少しでも読みやすくするために見出しの「人材の不足等」「情報の不足、偏在等」「環境保全活動を支える資金の確保等」の「等」を全部取っただけでいいでしょうか。見出しですので「等」を取ってもなんら差し支えはないと思います。

## 意見提出用紙

「環境保全活動の活性化方策について（中間答申）」（案）について

（氏名 村杉 幸子 ）

中間答申 P . 8 のイ . N P O 活動の内容について、意見を言わせていただきます。

- 1 . 4 ~ 5 行目の「N P O の中には.....指摘もなされることがある。」は、横山委員のご指摘を受けて、表現が多少やわらかくなっておりますが、私は以下の理由で、中間答申に書くほど根本的な問題ではないと思っています。

理由：ここに記された N G O は、ごく一部であって、多くの N G O についてをあらわしていないと思われます。ここには少なくとも大方の N G O が抱えている課題についてのべてほしいと希望します。（ヒアリングでの N G O の反応はどうだったのでしょうか）

- 2 . むしろ、私は多くの N G O にいえる課題としては、以下のようなものがあると思っておりますが、いかがでしょうか。内容的にこの部分に収まるなら入れていただきたく存じます。

（以下の記述は私の意を汲んでいただくために、少々、くどくなっています。もし、このような内容を取り上げていただく場合は、表現を霞ヶ関調に、直して入れてください。）

「N G O は一般に、巾広い環境保全活動のうちのある特定の課題に対して、志を同じくする者どうしが集まって自主的につくった組織であるため、目的とする活動に対しては熱心であるが、反面、競争や外部評価のないことなどのために、組織または個人として、環境についての巾ひろい研鑽が不十分になりがちである。そのため、組織の内部で、環境倫理観などいくつかの見解が不統一であったり、組織または個人ごとに活動の質にばらつきがあるのが現状である。これが、結果として行政や住民のニーズに十分に答えられない原因の一つであると思われる。また、情報発信や広報活動、資金の集め方が未熟なところも多い。」

\*最後の「また、.....」以下の文は、p . 1 0 ( 3 ) 人材の不足 イと、ダブリますが.....。